

第三者評価結果の公表事項（母子生活支援施設）

①第三者評価機関名

特定非営利活動法人 岐阜後見センター

②施設名等

名 称：	母子生活支援施設 きーとす岐阜
種 別：	母子生活支援施設
施設長氏名：	玉 木 ひとみ
定 員：	20世帯
所 在 地：	岐阜県
T E L：	

③実施調査日

平成 26 年 11 月 27 日（木）～ 11 月 28 日（金）

④総評

◇特に評価が高い点

当施設は「地域の関係機関等と連携・協働」「施設の専門性と機能の活用」「入所者に寄り添った支援」を運営の基本方針として施設入所に加えて子育て短期支援事業等を実施している。事業内容は母親の自立支援、子どもの教育援助、心理的援助、保育等母親と子どもの生活全般に渡る支援を行っている。訪問時には朝の保育、保育所や学校への送迎・病院の受診支援等に努めている様子が伺えた。施設の建物は南向きで明るく、居室、廊下、共用空間等の設計は、安らぎを感じるよう工夫され、諸設備が充実している。同時にセキュリティシステムが厳重に整備され、安心安全の確保ができています。また、中庭には、自然を取り入れ、行事を開催する等憩いの場として活用されている。施設内はLANで繋がっているため、いつでもそれぞれの立場からのアクセスが可能であり、総合的な支援への取り組みを可能にしている。毎日の業務や支援経過についてパソコンネットワークシステムを活用し詳細に記録している。システムで各記録を一元的に管理し、職員間で共有化している。また毎日、全職員が集合する機会があり、意見交換を通じて支援への意欲を高めている。職員は日々、母親と子どもとの日常的なコミュニケーションを通して常に向き合い、全職員がチーム一丸となり、退所後を見据えた計画的な支援を行っている。地域との関係性では、建物が施設の特性による制限のある中、地域の交流やボランティア・実習生の受け入れ等に努めている。

◇改善が求められる点

書式類やマニュアル類の整備など業務の標準化に向けた取り組みに期待したい。また自立支援計画は現在全国統一の様式を使用しているが、今後より詳細なPDCAサイクルによる作成における一連の過程がわかるような様式の開発に向けた取り組みに期待したい。

⑤第三者評価結果に対する施設のコメント

今回初めての第三者評価を受審することで、施設の運営状況・支援の状態を再確認することができました。たくさんの課題を頂きこの結果を職員間で共有し、より充実した入所者の支援に繋がるよう改善していきます。
職員一同、気持ちを新たにサービスの質が向上できるよう取り組んでいきたいと思っております。